

## 授業科目

## 化学の基礎I

担当教員名 曾根 英行	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・視機・救急・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○		○		

## 授業の概要

ヒトの健康管理にかかわる専門士の養成課程における専門科目を履修する上で、必要となる化学的な知識と考え方を高校化学の基礎を復習しながら修得する。

## 授業の目的

高校「化学I」の内容を再確認しながら、食品学、調理学、栄養学を学ぶ上で必要な基礎学力の習得を目指す。

## 学習目標

理論化学、無機化学の基本事項である「物質と原子」「化学結合」「物質の三態」「化学反応」「酸と塩基」「酸化還元反応」について理解することを目標とする。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	化学の基礎Iとは（ガイダンス）、高校「化学I」の理解度の確認	講義と演習	曾根 英行
2	物質の成分と構成要素、原子の構造	講義と演習	曾根 英行
3	原子間結合と分子間結合	講義と演習	曾根 英行
4	物質の状態変化、物質量「mol」、気体の法則	講義と演習	曾根 英行
5	溶液の性質「溶解のしくみ、浸透圧、コロイド」と溶液の濃度「パーセント濃度とモル濃度」	講義と演習	曾根 英行
6	化学反応式、化学反応とエネルギー（反応熱と熱化学方程式、結合エネルギー）	講義と演習	曾根 英行
7	酸と塩基、緩衝作用、酸化と還元	講義と演習	曾根 英行
8	講義まとめ	講義と演習	曾根 英行

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	随時、講義プリントを配布します。					
参考書						
その他の資料	各自、高校の化学で使用した教科書、参考書					

## 評価方法

定期試験で評価する。

## 履修上の留意点

事前に配布するテキストを一読して、はじめて見る単語や記憶の曖昧な語句などについて調べておくこと。  
授業の出席時数：総時数の2/3以上に出席であること。

## オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。